

実りのご報告

国際文化学科長 川口喜治

国際文化学科の新カリキュラムは3年目を迎えました。新カリキュラムは従来の学科の教育理念・目標を継承しつつ、現場における活動力や語学力という実践的能力の養成により重点を置いております。前者につきましては、経験豊かな教員チームが組織・運営する「地域実習」をほぼ全ての学生が受講し、地域における現場経験を通して多面的な活動能力を身につけております。山口市報制作に携わる実習は地域の問題となりました。後者の語学力につきましては、学生は英語・中国語・韓国語のいずれかを選択し、授業や留学生との交流、長期短期の留学を通し、その能力を伸ばしております。また学生の語学検定試験に向けての姿勢は常に真剣で、特にTOEICにおいて優秀な成績を獲得する者が多く出ております。課外におきましても学生の实践能力が十分に発揮され、開学記念日の学生の主張で第2位を獲得したり、下関における韓国人旅行者への調査が地域社会の注目を集めました。教員一同、さらに志を高くし、このような実りをいっそう豊かにすべく努力いたしますので、保護者の皆様の倍旧のご支持、ご鞭撻をお願い申し上げます。